

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 939 号	氏名	跡上 直
学位審査委員	主査	宮崎 泰司	
	副査	前田 隆浩	
	副査	岩永 正子	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、自動血球分析装置より得られる平均赤血球容積（mean corpuscular volume, MCV）及び赤血球容積分布幅（red blood cell distribution width, RDW）と同等以上の臨床的意義を持ち、線形性を有する新たな検査指標を探索するもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 自動血球分析装置より得られる赤血球粒度分布図を基に赤血球容積分画毎のカウント比率を求め、赤血球容積分類として経時的にグラフ化する方法を開発した。その方法を用いて得られた新たな指標と従来の赤血球関連検査指標とを比較検討しており、研究方法も十分に妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記の方法で解析した結果、新規指標は赤血球の大球性変化と小球性変化を独立に評価できること、貧血を有する症例の解析においては MCV, RDW など従来の指標よりも詳細に病態の変化、治療反応性が捉えられることを明らかにしており、今後、より優れた血液検査法開発研究への発展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は臨床血液検査学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			